修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　前田　寛
〒101 東京都千代田区
西神田2-8-7（幅ビル）
☎03(3262) 2426・2932
振替（東京）6 —36337

★　われらの信条
われわれは教育を熱愛し　友愛と信義を基盤とする同志的組織のもとに団結する。
★　われわれは全修協創設の精神にのっとり　公益法人として　児童生徒の幸福のために挺身する
★　われわれは修学旅行の改善向上に邁進し　我が国の教育振興に寄与する

修学旅行中の中学生は明るい表情
（京都・平安神宮にて、埼玉県富士見市立東中学校）

平成5年度　文部省予算

概算要求額決まる

修学旅行費等の補助単価は大幅増額

文部省は、八月末に平成五年度予算の概算要求を大蔵省に提出した。これによると、修学旅行費等の国庫補助単価は別表に示す金額になっている。

この補助単価は、修学旅行や校外活動に必要な費用を補助するため、要保護家庭、準要保護家庭並びにへき地校の児童生徒に支給されるものである。

この件に関しては、義務教育の機会均等を願って、毎年(財)全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会（黒澤文雄会長・芦屋市立潮見中学校長）とが協力して修学旅行に必要な経費の明細を調査し、これに基づいて補助単価の増額を文部省に陳情している。

今回も、去る六月十六日この陳情を行い、その成果が別表のように大幅増額され、結実した。

なお、この総額は、修学旅行費＝二十三億六千九百九十二万二千円、校外活動費＝五億九百四十六万六千円となる。

平成5年度修学旅行費補助・概算要求単価

修学旅行費（要保護・準要保護児童生徒対象）

校　種	今年度補助単価	来年度概算要求単価
小学校	16,500円	17,900円
中学校	45,100円	48,600円

校外活動費（準要保護児童生徒対象）

種　別	校　種	今年度補助単価	来年度概算要求単価
宿泊を伴わない	小学校	1,160円	1,190円
	中学校	1,660円	1,700円
宿泊を伴う	小学校	2,740円	2,870円
	中学校	4,640円	4,780円

（上記金額の2分の1が国から補助され、残額については、地方自治体が負担する）

修学旅行　その先に　おもいを！

——主　張——

黒澤文雄

学校週五日制（家庭週二日制）がいよいよ始まる。月一回とはいえ、その実施により、徐々にではあるが、

㈠　家庭においては、時間的なゆとりが心のゆとりを生み、多様な触合いの中で、過ごし方についての話題が増える。

㈡　地域の教育・文化などの諸施設の充実、活性化が期待できる。

㈢　修学旅行のPlan—Do—See の各段階で、生徒の思いが織り込まれるようになり、「生徒を中におく」向きが、大きくなる。

と、考えられる。

このような中で、学校・家庭・地域が連帯して、それぞれの領域を越え、重ねつつ、その教育機能を発揮し、補完し合うことも容易になると考えられる。更に、教育、文化諸施設の充実などにより、修学旅行の内容も豊かになって、生徒の感性、個性の伸長への大きな力になる。

更に、野外活動の目的を達成できる場が、各地に得られるようになると予想される。そして、第一学年から、時に応じて気軽に多彩な内容で、総合的な活動が展開でき、そのような積上げが、第三学年で実施される修学旅行の質を高め、併せて、修学旅行が、中学校特別活動の集大成として位置付けを得るようになるのでは…と考える。

このようなプロセスを通して、生徒たちは、自分で考え、主体的に判断し、活動できる、より高い伸びやかな、開かれた能力を身に付けていくと確信する。

また近年、高齢化社会が進行し、生涯学習も社会的問題だが、修学旅行を通しての、いろいろな直接体験は、二十一世紀に、その活躍が期待される生徒たちに、意欲、関心、判断力、人間性、創造性などを目覚めさせ、醸成させる起爆剤となり、更に、自らも含め、生涯教育への線（伸び）と面（広がり）になるものと期待できる。

さて「修学旅行」は、特別活動における第四節(4)旅行・集団宿泊的行事として行われ、その場は、学校の外に求められる。したがって、その臨場感や感性の高揚には、想像を越えるものがある。心体の活動空間の伸びと広がりは、「時」をもとにみれば、過去から現在、未来にまたがり、「場」をみれば、垂直・水平方向に無限の大きさとなる。

そのように考えるならば、それは、中学校三領域を結び、それを越える一領域として考えてもいいのではなかろうか。それが成り立った時、一層の高齢化が予想され、生涯教育の重要性が叫ばれる社会変容の中で求められている余暇の善用—特に旅の在り方を通して—への意識化が進み、個性に満ちた模索が進むのではなかろうか。併せて、国際理解能力の育成にも、大いに資するところがある。

修学旅行に求められる、教育性、安全性、経済性を踏まえて、計画・実施・評価に配慮を怠らず、万全を期したいものである。

どきどきしたり　わくわくしたり
うきうきしたり　ときめいたり
やすらいだり　ほっとしたり……
学ぶことは　働くことは
そして　旅することも……
それはとても楽しいこと

（関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会会長・兵庫県芦屋市立潮見中学校長）

学校が望む旅館のサービスとは
旅館が提供できるサービスとは
学校・旅館・業者が意見交換

去る七月二日に開催された近畿日本ツーリスト協定旅館連盟修学旅行部会第六回全体会議については、すでにその一部をお知らせしたが、今回はシンポジウム＝写真㊤＝の概要を3面から7面に特集、掲載した。

紙面刷新のお知らせ

①教育関連記事を多数掲載
②紙質向上と一部カラー化
③文字を大きく鮮明に（一行13字を12字に）
④本号は特集記事掲載のため8ページ

風紋

オリンピック女子水泳で中学二年生が金メダル、高校野球は西日本短大付が優勝と、この夏は予想外な展開が続き、地元沼津市や八女市は大熱狂、干物やお茶の人気も上昇した▼そのせいか、九月に入っても残暑が厳しく、電力消費量もうなぎ登り、東京は少雨記録を更新中だ▼関東大震災から六十九年、奇（く）しくもその九月一日に太平洋の対岸ニカラグアで地震津波が発生した。チリ津波が三陸海岸に押し寄せたり、九年前に男鹿半島で多数の修学旅行生が津波の犠牲になったことを再び思い起こし、「防災の日」を見直したい▼天災は仕方のない面もあるが、戦争という人災が地球上から消滅するのはいつのことであろうか。昭和十五年、東京五輪が中止されたのも戦争が原因であった。その年、大日本帝国は紀元二千六百年を盛大に祝ったが、もし平和で、オリンピックが予定どおり開催されていたら、世界情勢が今どうなっていたか想像できない▼当時の修学旅行は伊勢神宮や橿原神宮へ戦勝祈願するのが通例だった。東京では市電（都電）が二重橋前を通過の際、車掌の号令で乗客が最敬礼をしていた。また、三浦半島など軍事施設のある地域の地図は、要塞（ようさい）地帯ということで真っ白、鎌倉の見学に地図は無く、写真・スケッチも禁止だった▼更に「学徒動員」「月月火水木金金」へ。時移り、今は「週五日制」に。平和に改めて感謝しよう。（中）

信頼される旅づくり

心にあざやかな想い出、
ツーリストの修学旅行。

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く想い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

近畿日本ツーリスト
本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店／国内250店（登録）／海外15店　運輸大臣登録一般旅行業第20号

――修学旅行を考える――

大切な五つの心

京都　青蓮院門跡　村田　弦三郎

当院で行っている中学生を対象とする修学旅行指導の実態を御参考に申しあげたいと存じます。

在学中における最も期待され心待ちになさっておられます修学旅行に、微力ながらも貢献できればと常に心掛け法話に力を注いでいる次第でございます。

京都における由緒ある文化財に対するあらゆる知識と併せて心に残る記録をお求めに来院されます。この機会に人生生活における必須の条件とする「大切な五つの心」をお土産として申しあげたいと思い、行事内容の主旨の徹底を図り、各学校ではこの法話による成果が現れ、PTAの方々と共に教育指導の一端として成果を挙げていただいている現状でございます。

青蓮院の宗派は天台宗で、この宗派をお開きになられましたお方は伝教大師最澄聖人でございます。この世の中において常に明るい社会作りに次の決意を示されました。

「悪事は己に向かえ、好事を他に与え、己を忘れて他を利するなり。これお慈悲の極みなり。」という御誓詞により開かれたのでございます。解釈致しますと、悪い事は自分が取りなさい。善い事は人に差し上げなさい。そうして自分のなすべきことはすべて後回しにして、人のために幸福になることをしてあげなさいという意味でございます。

そこで皆さんは日常生活で絶対忘れてはならない、また一つとして欠かしてはならない心掛けは次のとおりです。

一、「ハイ」という素直な心

およそ人間は常に人と人とに接する機会が多く、その都度この姿勢を忘れないよう素直さがあれば、人に好かれ尊敬され、やがては自分の幸福をつくり明るい楽しい私生活が営めます。

一、「させていただきます」という奉仕の心

奉仕の心は道徳心の表徴であると思います。

皆様も絶えず道徳心の欠けている状態を数多く目にしておられると思いますが、すべて見た事に目が止まり「これは」と気付いても自発的に物事を処理することは非常に至難なことでありますが、公衆のためだと判断し、躊躇することなく奉仕する心構えが大切です。それには何と申しましても常に助け合い運動の精神を忘れず、すべて積極的に事を行えば美しさ清潔さが保たれ、自然とお互いに笑顔笑顔のほほえましい環境作りの中に一段と友情さが生まれます。

一、「ありがとうございました」という感謝の心

皆さんが今日このように楽しい修学旅行が出来ますのは、一に先生方のお陰であり、御両親のお陰であることは十分御存知でしょうが、今日一日元気で楽しく過ごしてお寝みする時は、その有り難さを振り返り反省し、心の中で合掌して「お父さんお母さん有り難うございました。お寝みいたします」と感謝のお礼を申しあげてお寝みするこの尊い心掛けを忘れないよう必ず実行してください。

一、生きものを大切にする心

人間はもちろんのことですが一つの花に例えて申しあげます。この美しい花は眺めることにより人の心を和らげ、人の心にほほえみを与えます。この花はすべて長い月日、強風に吹かれ雨に打たれ、時には嵐にさらされ、苦難の道を堪え忍び生き抜き、花の咲くころには見事に花を咲かして、皆さんに楽しんで頂いていると思います。これを皆さんに例えますと、今日このように立派に成長なされましたのは花と同様、御両親にはあらゆる苦難の道を歩かれ、皆さんをお育てになられました。この御恩を忘れず、一日一日を感謝して過ごすことが大切です。この立派な心を仏の言葉で「菩薩の心」と申します。

この思いやりを皆さんが毎日携行されますお弁当に例えて申しあげます。皆さんが食事をなさる時、自分の好みのお弁当であれば笑顔の一つも出るでしょうが、好みでない時はさぞかし不満な気持でお食べになると思います。特に、お母さんの立場は複雑でありその事情を十分認識され、お母さんに「毎日のお弁当有り難う、喜んで頂いています。」と優しい温かい言葉を出されてごらん、どんなに喜ばれるか、お母さんは心の中で涙ぐまれると思います。このように常に相手の立場に立って物事を判断する。これが「思いやり」でございます。この心掛けが「一隅を照らす」の主旨でございます。どうか皆さん常に豊かな心のある人間になるように、お互いに努力して話会い、励まし合って、よりよい明るい校内作りに専念してください。

◇

――修学旅行生の作文――

心に残る修学旅行

埼玉県富士見市立東中学校　対馬　清佳

今一番思うことは、予想以上に京都や奈良が大きな都市だったということです。見るもの触れるものすべてに、何百年も前からの〝歴史〟がたくさん詰まっていると思い、心を打たれました。

一日目の東大寺。日本で有名な大仏は、思っていたよりはるかに大きく、威厳がありました。ただでさえ大きな仏像なのに、それを囲む、屋根や分厚い壁までも、すべて人間の手で作られているなんて信じられませんでした。私と同じ人間なのに、なぜ、こんなに素晴らしく大きなものを作れたのかと尊敬してしまいます。

そんな一日目、すごく疲れましたが、翌日班別行動はどうなるんだろう、青蓮院とはどんな所だろうとあれこれ考えていて眠れませんでした。

そして二日目。睡眠時間が短く、六時半の起床はつらかったけれど、班行動が予定時刻より早く旅館を出発できたのでよかったと思いました。

最初は三十三間堂。一千体という菩薩様の像の一つ一つの顔が、どれもわずかに違う表情をしていて、一つだけ自分に似た顔があると聞きました。これ程にたくさんの表情を考え、彫刻するなんて、昔の人は本当にすごいと思いました。迫力があり、心引かれてじっくり見てきました。

次に行ったのは平安神宮です。正面の大きな鳥居をくぐり、中に入ってみると、思わず「わあ」と叫びたくなるくらい、広く、美しい神殿がありました。鮮やかな朱色の柱、それに覆いかぶさるような深い緑色の屋根、何年もそこにあったはずなのに、すごく新しい感じがしました。その隣の約三万平方㍍の庭園も立派でした。緑豊かで、とても日本的で、ゆっくり見ることができました。

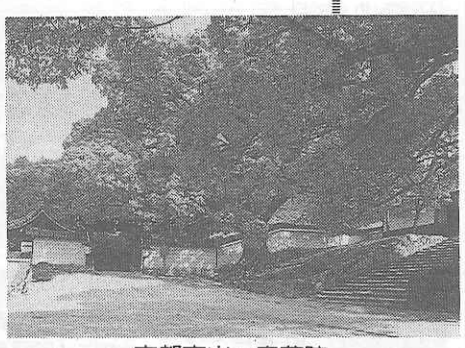
その次に行った金閣寺は、以前写真で見たのよりずっと美しい金色でした。素晴らしい色の輝きです。写真でしか見たことのない有名な金閣寺を目の前にして、感動して我を忘れてしまいました。

そして次には映画村で楽しく過ごし、最後に二条城に行ったら、もう閉まっていて残念でした。外側だけ見て、四時半に旅館に着きホッとしました。朝見たはずの友達の顔も、少し懐かしく思えました。途中、男子とはぐれたりしたこともありましたが、緊張で始まった班別行動も、ポケベルが鳴ることもなく無事終わりました。あわただしく夕食を済ませ、楽しみにしていた青蓮院に行きました。

正座して初めて抹茶を飲みました。三口で飲むことや、残したお菓子は持ち帰ること等教えてもらいました。琴の演奏も初めて聞きました。薄暗い庭の真ん中で弾いてくれた琴の音色は最高でした。

二日目の班別行動も終わり、最後の一日となりました。その日は清水寺の見学でした。記念撮影をしてから見学。一番驚いたのは、寺の建物が釘を使わずに建てられたということです。太い木と木を組み合わせて作ってありました。今では釘等を使わずに建てるのは無理かもしれません。

この三日間、京都で学んだことは口では言い表せないくらい大きかった気がします。



京都東山・青蓮院

第1回　韓国修学旅行実地研修会を実施

―ソウル・慶州・釜山―

財団法人全国修学旅行研究協会は、九州事務所において第一回韓国修学旅行実地研修会を行い、大分県などの高等学校関係者が参加、八月十七日～二十一日の四泊五日の日程で、ソウル・慶州・釜山を訪問した。

現地の宿泊ホテル・見学地は受入れに大変熱心であり、受入体制は十分に整っているが、日本から多くの修学旅行団が訪れるので、韓国側の適切な交流の相手校を見つけることが今後の課題となろう。

第4回中国修学旅行実地研修会は北京・大連へ

㈶全修協九州事務所における第四回中国修学旅行実地研修会は、八月二十四日から二十八日までの日程で今回初めて北京・大連を訪問、福岡・佐賀・長崎各県から二十五名が参加した。

九州ではほとんどの県が公立高等学校の海外修学旅行を認めており、計画には特に学校の主体性と安全確保、実地調査と保護者の十分な理解の必要性を指導されている。今回の参加者にPTA関係者が五名含まれていることを特筆したい。

今年は日中国交正常化二十周年、中国友好観光年に当たり、「特別航空運賃適用の通年化」「本年に限り査証無料」など修学旅行の受入体制が整ってきている。

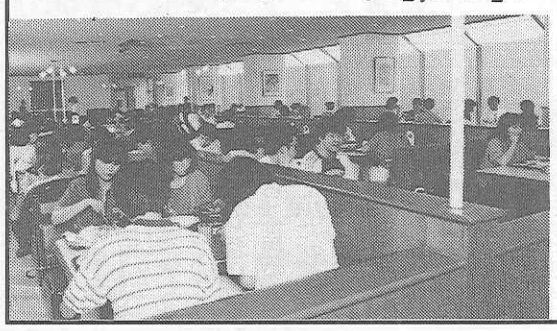
現地では北京師範大学附属第二中学校訪問、中国接待日本青少年修学旅行委員会ほか旅行関係者との意見交換会などが行われ、特に学校交流の重要性を理解、現地受入状況を十分に把握等、実のある研修を重ねた。

「動物たちのあったかラ・ン・ド」

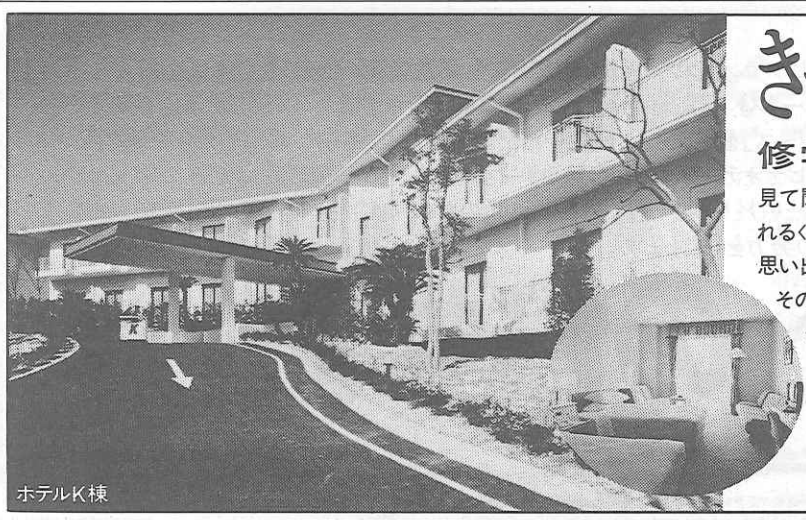
●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生1,100円　中学生　800円
小学生　700円　ガイドラジオ
バス1台につき1,030円

別府あじむ草原　博物館相当施設
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（0978）48-2331㈹
FAX（0978）48-2330

――修学旅行の楽しいお食事――
箱根彫刻の森美術館内
レストランコンポート



◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)1141(代表)



ホテルK棟

きっと、思い出いっぱいの旅になる。
修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。
見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる〈ホテルK棟〉をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしています。
そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

▲横G体験が新しいサイドフォースカート（モートピア）

体験学習のご案内
●エンジン教室●本田技研鈴鹿製作所工場見学
●モートピア●モータースポーツ観戦●地曳網
●潮干狩●伊勢形紙彫り●茶摘み●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは――
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎(0593)78-1111
東京営業所 〒107 東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワービル東館16階 ☎(03)3582-3221